

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年5月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100169
法人名	有限会社 ふれあい企画
事業所名	グループホーム ふれあい
所在地	鹿児島県霧島市隼人町小浜3070番地 (電話) 0995-43-0716
自己評価作成日	平成23年4月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年4月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

始良市の町、錦江湾と桜島が一望できる高台にあり、春には桜、秋にはイチョウや紅葉が色鮮やかな色を見せている。東屋では地域の人が利用したりと自然環境に恵まれたホームである。管理者・職員は朝礼時、理念(個人の尊重と寄り添う介護の実践・家族との絆を大切に、地域づくりを推進する)、私たちの行動指針、コンプライアンスルールを念頭に置き、日々唱和し、ケアにあたっている。そしてホームの一番大きい行事では、花見・夏祭りを開催し、利用者、家族、職員、地域住民合わせ約140名が歌を歌ったり、踊ったりと楽しいひと時を過ごしている。日常生活でも、ホーム園内に畑があり、利用者と一緒に野菜や花を植え、収穫し楽しんでいる。月に一度、理学療法士がホームに来られ、利用者が安全で安心した生活が送れる様子ハビリにも取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

このホームは、加治木の山間にあり、桜島や錦江湾が眼下に広がる風光明媚な場所にある。  
広い敷地に介護付有料老人ホームとグループホームの4ユニットを開設しており、「ふれあいホーム」として、ひとつの共同体となっている。  
各ユニットごとの理念を作って、入居者の心の声を聞き、家族の絆を大切に思い、地域とともに生きる姿勢で支援している。  
各ユニットごとや合同での行事の開催や外出支援・レクリエーション・楽しい食事の提供など、入居者はのんびりとまた楽しく日常生活を過ごしている。  
毎月、理学療法士がホームを訪問し、入居者の個別機能計画書に沿ってリハビリが行われている。  
介護保険制度当初からの開設であり、年々職員が工夫やアイデアを出し合って作り上げた介護のしくみや居住空間が充実しており、入居者の安心や信頼に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設理念（個人の尊重と寄り添う介護の実践・家族との絆を大切に地域作りを推進する）さくらんぼ理念（常にあなたにより添いあなたが何を望んでいるかを心にとめ、あなたが笑顔で安心して、安全に過ごせるように笑顔で支援します。をユニットの理念にかかげ、利用者の事を第一に、利用者により添い、共に助け支え合いながら、楽しく過ごせる様に支援しています	施設理念をもとにユニット毎の理念を具体的に掲げ施設内に掲示し、日常生活で確認しながら、毎日唱和している。利用者に寄り添い、ともに助け合いながら楽しく過ごせるように理念を意識して取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域の行事（初午祭、棒踊り、夏祭り、文化祭）等に参加したり、ホームの行事（花見、夏祭り）に地域の方に参加してもらい交流している。又、散歩時に近所の方と気軽にあいさつを交わしたり、時には野菜などを頂く事もある	夏まつりなどの地域行事に参加している。また地域住民といっしょに花見をしたり、野菜を届けたり、訪問してもらったりしている。学生の職場体験や実習などの受け入れも積極的に行い、地域との交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の民生委員や公民館長と連携を取り、介護相談を行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進委員会を開催し行事、入居者の様子やヒヤリ、事故等を報告している。参加者から、意見を聞き、介護の現場に活かしサービスの向上に繋げている。又、議題を決め意見や実習発表をして、利用者により良いサービスを提供できるように取り組んでいる。	運営推進会議には、関係各界の職員等が参加し、入居者の様子や検討課題などを報告している。参加者で意見交換を行い、サービス向上に努めている。また議題を検討して、今後の地域密着型サービスとして、一つひとつ着実に積み上げていく思いで取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	霧島市主催の健康福祉まつりや認知症研修会に参加し困った事例について相談し意見を頂いたり又、介護相談委員からの情報を交換し取り入れる等質の向上に取り組んでいる	市主催の行事へ参加したり、市の担当者へ事業所の現状報告や相談に行ったりして情報提供を受ける等、協力関係を築いている。また介護相談員を受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束マニュアルがあり、職員は研修会や日々の介護の中で勉強しており禁止の対象となる、具体的な行為を理解しており、身体拘束はしていない。又、身体身体拘束マニュアルもいつでも見れる様にしている。	職員は身体拘束等に関する具体的な行為の禁止を理解するとともに、その意義についても研修会で学んでいる。身体拘束廃止マニュアルも作成し、いつでも見れるようにして基本に立つように意識している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルがあり、職員は研修会、勉強会、介護の現場で学びながら虐待が見過ごされる事がない様に注意し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員は権利擁護について研修会やミーティングで話し合い、本人の姿シート等を活用し実習を行い活用している。又、権利擁護指針を掲示しており、いつでも基本を振り返る事が出来るようにしている。成年後見制度も研修会で学んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>時間をとり、十分な説明をしている。事業所理念や利用料金、退所時の取り決め等説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>介護相談員から利用者の声を聞いてもらったり、年に2回の家族会を開催し家族の要望や悩みを聞いたり、面会時にも話やすい雰囲気をつくり運営に反映している。意見箱も設置しているがあまり、利用されていない。</p>	<p>年2回家族会を開催し、要望や意見を聞いている。運営推進会議への出席依頼を全家族に文書等で行い、家族の意見や要望がでやすいように配慮し、それを運営に反映している。意見箱や苦情相談受付簿も設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の管理者会議や代表者会議で各ユニットが抱えている問題を話し合ったり、職員の意見や要望は主任、計画作成担当者を通し管理者報告し反映させている。又、ミーティングには管理者も参加して職員の意見を聞いて反映している</p>	<p>職員の意見や要望は、各ユニットの主任を通して管理者会議や代表者会議で伝えられ検討されている。また管理者が個別に職員に意見を聞くなどして、運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行っている。代表者や管理者が面談を行い職員の要望を聞き、各自が向上心を持って働ける様に環境、労働条件にそえる様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修を1～3か月かけて行い事業所内では全体研修での勉強会、ユニット毎に目標を立てて実習し全体研修で事例発表した。外部研修に多くの職員が参加できる様にしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>始良、伊佐地区のグループホーム協議会に加入している。定期的に研修会に参加し交流の機会をつくり、共通の悩みや質の向上に向けて話し合い、取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の住まいに訪問し本人の状態を把握した上で、本人の不安や要望を聞き、安心して安全に生活できる様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に家族と面談し家族状況を聞いた上で今、何が不安で何を望んでいるかを聞いて、次の段階の相談に応じている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が必要としているサービスが困難なケースも相談を受け、必要に応じて各関係機関に相談し調整しながら受け入れを決めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の大先輩であると職員一同が認識している利用者に色々と教えてもらいながら共に支え合う関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時、お便り、電話等で利用者の生活状況を細かく伝える事で安心して居る。一緒に支え合っていく関係が出来ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の都合にも配慮しながら協力を頂き、面会、外出、外泊の支援をもらっている。又、ユニットの遠足で昔馴染みの場所に行ったり、買い物にも週1回出かけている。	入居者のこれまでの思いでの場所に家族の協力を得ながら遠足や買い物・ドライブに出かけたり、友人や知人等の来所支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者同士が同席出来るように配慮してり、トラブルの際は職員がすぐに中に入り、傾聴、受容し、お互いが孤立しない様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	次のサービス事業所に情報を提供したり、相談を受けたりと退所後も家族の希望に合わせて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	1人ひとりのその日の状態を把握し、その人が何を望み、何をしたいかを確認し、納得してもらい支援している。	日常生活の中で、入居者の日頃の言葉や表情から思いを察知することに努めている。意思疎通が困難な場合は、家族からの情報を得るなどしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族や関係者から情報をもらっている。入居してからも本人や家族の会話の中から情報を引き出す様にしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者を常に観察し、小さな変化も見落とさない様にして、その人らしい過ごし方が出来るように努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティング等を利用してモニタリングを行っている。モニタリングの結果と本人や家族の希望も取り入れ介護計画を立てている。主治医の意見書も参考に作成している。	利用者のバックグラウンドを基本に、ミーティング等において、課題を抽出している。また本人や家族の希望も取り入れるとともに、主治医の意見を聞きながらその人らしい介護計画を作成している。またモニタリング結果をふまえ現状に即したプランを作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録にニーズに沿った内容を記録している。又、気づき、体調不良の変化も記録し、食事、水分量、排泄回数等も把握し状態変化にその都度対応している。3か月毎にプランの評価をし、介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の状況に応じて受診、送迎、買い物等の支援を柔軟にしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して地域で暮らせ続けられる様に民生委員、消防署等と協力しながら意見交換する機会を設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。月に一度、訪問診療があり、受診や通院は本人や家族の希望に応じて支援している。	本人や家族等の意向にそったかかりつけ医の受診を支援している。訪問診療もあり、看護師が対応して、情報を提供し服薬管理も行っている。受診や通院は家族や職員が支援して適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員に状態変化は常に報告、相談し異常が見られたら直ぐに対応が出来る様に支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は面会をする様にして看護師やDrに本人の状態を確認し、早期に退院が出来るように働きかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化に伴う意見確認書を作成し、事業所が対応し得る最大のケアについて説明を行っている</p>	<p>「重度化対応に関する指針」 「医療連携体制についての同意書」を作成し、同意書による確認印をもらっている。状態変化が生じた場合は、関係者と話し合い、対応について全職員が共有し支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は消防職員による研修や全体研修で緊急応急手当を学んでおり実践力を身につけている。又、緊急時のマニュアルもありいつでも見られる様に掲示している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年3回の避難訓練を消防署立会いの下、夜間想定で行った。地域住民は高齢で協力が難しい。場所的に始良市に近く、始良市からの応援も得られた。23年3月スプリンクラーが設置された。ユニットが二階にある為誘導が難しい所もある。</p>	<p>消防署の指導のもと年3回夜間想定避難訓練や火災訓練を実施している。ホームは霧島市であるが、始良市からの応援も得られている。地域住民は高齢化しており、協力体制が困難であるので職員の対応を工夫している。緊急時の備品確保もなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の生活歴を把握したうえで、尊厳やプライバシーを傷つけない様に言葉かけや対応に気をつけている。又、記録等個人情報取り扱いにも注意している。	入居者に対して、職員は常に「人生の先輩」という認識をもち、誇りやプライバシーを損ねないようにされげない言葉かけや対応で支援している。個人情報の取り扱いにも注意している。新人研修や全体研修で確認している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望が何であるかを知り、自分で決められる様に安心できる言葉かけし、思いが叶えられる様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペース合わせ、業務より利用者の声を大事にして希望に添った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の好きな洋服や季節に合った洋服を着てもらえる様に支援している。又、長くなった髪は定期的に職員がカットしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1人ひとりの好みを把握し苦手な食べ物は代用品で対応している。又、野菜の下ごしらえ、テーブル拭き、お盆拭き等を一緒にしている。週一回の買い物時は利用者の好みを聞いて買い物をしている	入居者の嗜好を採りいれ、それに基づいた献立を相談しながら決めていく。入居者の力量にあわせて自分がしたい手伝いをしていく。食事が楽しみなものになるように買い物を一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人、ひとりの食事、水分量、体重を記録し、職員が情報を共有し、工夫しながら支援している。栄養士もおり、バランスの完備されている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨きの声かけをし力に応じて職員が見守り、介助をしている。就寝前には義歯の洗浄もしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表に記録し、個々の排泄リズムに合わせて、トイレ誘導し失敗が最小限に押えられる様に支援している。失敗しても本人が傷つかない様に配慮している。	入居者の排泄リズムを把握し、時間ごとに誘導し記録している。日中はさりげなくトイレ誘導を行い、夜間はポータブルトイレを利用するなどして、自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事（繊維質多い食材）飲み物（本人の好みの物）等に工夫をし、個々の状態に合わせて支援している。又、体操やレク等で体を動かし自然排便が出るように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴支援をしている。入浴を拒まれる利用者には時間や人を変えて声かけしたり、その日の体調に合わせて支援している。	原則週2回の入浴となっているが、音楽をかけたり、入浴剤をいれたり、楽しい入浴となるように支援している。必要が生じたときはその都度対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を重視し、夜間、ゆっくり休んでいただける様に支援している。又、昼食後に希望者にはゆっくり休んでもらう様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに処方線を綴じてあり、職員は内容を把握している。服薬時は名前といつの薬であるかを他の職員と二重チェックをし誤薬がない様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人に合った役割や楽しみが何であるかを把握し生きがいにつながる様に支援している。 (ここで働いている。草花が好き。晩酌が楽しみ。散歩、畑仕事をしたい)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気のいい日や本人の希望や状態に合わせて散歩を日常的にしている。買い物や遠足等利用者の希望を聞きながら支援したり、家族の都合にも配慮しながら外出の支援をしてもらっている。	周囲の自然環境がよく、空気もきれいなので畑や東屋の付近を日常的に散歩している。買い物や弁当持参の遠足・ドライブ・地域の行事等、家族の協力も貰いながら、希望に沿って外出の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の希望で少額のお金を職員で預かって買い物時に希望の物を購入する方もいる。利用者、自身はお金を持っていない</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望時にはいつでも家族に電話が出来るようにしている。又、家族より電話や手紙が届くなど、家族や本人の希望に添った支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールは狭いが台所がすぐ側にあり、野菜を切る音や煮る臭いが等が近くで感じる事が出来る。又、季節ごとの飾り付けや花を飾ったり、換気や室温調整など利用者が居心地よく過ごせる様に工夫している。</p>	<p>共用空間は、家庭的で季節ごとの花や飾り付けをしたり、絵画等を飾っている。入居者はソファやベンチで思い思いにのんびりと過ごしている。温度や湿度・換気に配慮して、居心地よく暮らせるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにソファが二つ、廊下、窓端にも一つ置いてあり、気の合う同志で話をしたり、一人でゆっくりとしたり自由にくつろいでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使っていたタンス、イス、家族の写真等を置く事により安心して生活できる環境作りに工夫している。</p>	<p>居室は使い馴れた家具類が持込まれ、家族の写真も飾られ、居心地よく過ごせるような工夫が感じられる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自室、トイレ、浴室などが分かる様に表示したり、廊下、トイレには手すりをつけ自立して安全に生活できるように支援している。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない